

令和3年度 小野小学校 学校自己評価報告書

達成度評価： A=目標達成 B=目標に近づいた C=まだ残念な状況 D=次年度の大きな課題

達成値=評価4と3の合計の割合(%)

評価項目	番号	評価内容	児童達成値	保護者達成値	自己評価達成値	達成度評価
思いやり育(育)のある子	①	子供たちとの対話を大切に、温もりや居場所のある学級づくり、自己肯定感を高める言葉かけや関わりを継続しているか。	78.8%	92.0%	90.0%	B
	②	「和顔愛語」(やさしい顔で、ふわふわ言葉を奨励し、「くん-さん-ちゃん付けの呼び名」など、子供同士の関係が和やかになる指導を継続しているか。	87.9%	89.7%	100.0%	
	③	人の痛みや喜びに共感する心、人の厚意に感謝する心など、「他者との共生」を意識した指導を継続しているか。	87.1%		100.0%	
	④	あいさつ・返事、素直な「ありがとう・ごめんなさい」、時間や約束を守るなど、人としてのマナーの指導を継続しているか。	84.1%	87.5%	95.0%	
	⑤	後片付け・無言そうじ・トイレスリッパ・廊下歩行など、公共のルールの意識を高める指導を継続しているか。	85.6%		90.0%	
自ら学び表現(育)する子	①	めあてとまどめを大事にして書く活動を重視し、タブレット端末を積極活用するなど、「主体的な学び」を意識した授業づくりを進めているか。	87.9%	85.7%	88.2%	B
	②	ペアやグループなど、学年に応じて協働的な交流活動を取り入れた授業を行っているか。	81.8%		82.4%	
	③	遅れがちな子、早く終わってしまう子など、個別の支援や手立てを要する子への対応を行っているか。	89.4%	71.0%	88.9%	
	④	授業の終始や学習準備、姿勢、聞く話すの約束など、学習規律の定着の指導を継続しているか。	79.5%		94.4%	
	⑤	学年に応じて、「自学」を含めた家庭学習が習慣づくように指導や励ましを継続しているか。	65.2%	88.7%	81.3%	
心も体も元氣な子	①	感染症予防(検温・マスク・手洗い・換気・消毒等)の指導を継続しているか。	94.7%	94.3%	100.0%	B
	②	登下校の交通安全や校内事故防止など、安全意識を高める指導を継続しているか。	96.2%		100.0%	
	③	望ましい生活習慣(早寝早起き朝ご飯・洗顔と歯磨き・メガイソトール等)の指導を継続しているか。	77.3%	87.5%	94.7%	
	④	体力づくりの活動(朝の運動など)や外遊びについて、励ましや指導を継続しているか。	78.8%	90.4%	78.9%	
	⑤	給食指導を中心に、望ましい食習慣をつくる食育指導を継続しているか。	80.3%		100.0%	
と家庭や連携	①	連絡帳・電話連絡・保護者面談・家庭訪問などにより、家庭との相互理解・連携を図っているか。		96.0%	88.9%	A
	②	各種たよりや学年・学級メールなどで、学習や諸活動の様子について保護者に発信、情報提供することができているか。			94.7%	
	③	家庭学習・家庭読書・メガイソトールなどのよりよい習慣づくりについて、継続的に家庭に働きかけることができているか。		87.6%	94.7%	
	④	コロナ禍の中でも、可能な範囲で育友会や地域の活動に関わるように努めているか。			88.2%	
学校運営	①	学校教育目標、めざす児童像や授業像、重点努力事項を理解し、それを受け止めた学級経営や教科指導、分掌業務に取り組んでいるか。		94.3%	100.0%	A
	②	分掌部会で複数人の知恵を出し合って連携するなど、学校の組織力発揮を意識して業務に取り組んでいるか。		86.3%	100.0%	
	③	小野地区の特性理解に努め、地区のよさ・特色・人材を生かした教育活動を、可能な範囲で積極的に取り入れているか。		91.0%	100.0%	
	④	清掃指導の充実や整理整頓、掲示物の整備や工夫、学習園やプランターの活用など、教育の場としての環境整備に取り組んでいるか。		83.5%	89.5%	
チー <small>ム</small> 小野	①	「どの子も愛し、どの子も伸ばす」という教育愛と使命感を持って職務に努めているか。			100.0%	A
	②	「同僚とともに研鑽に励む」「互いに学ぶ」意識で研修に取り組み、授業に生かそうとしているか。			100.0%	
	③	常に人に見られていることを意識して言動に留意し、不祥事とは無縁の「信頼される教師」であるように努めているか。			100.0%	
	④	管理職も含めた職員間の「報-連-相」を意識した連携協働と、一体感と同僚性が感じられる職員集団づくりに、自分自身も意識して参画しているか。			95.0%	
学校満足度		児童「楽しくていい学校」、保護者「通わせたい学校」、職員「働きやすい・働きがいのある学校」であるか。	86.4%	87.2%	100.0%	B

学校自己評価考察(成果と課題)
<p>○児童・保護者アンケートによる達成値はほとんどの項目で80%を超えているので、おおむね良好な結果と言える。「その他」の「学校満足度」の項目でも、良好な結果が得られている。</p> <p>○感染症対策や学校と家庭の相互連携、学校からの情報発信などで高い評価を得ることができた。</p> <p>○職員の自己評価もほぼすべての項目で80%を超え、組織的な意識や対応ができており、良好な運営状況と言える。働き方改革の取組により、「働きがい・働きやすさ」も向上している。</p> <p>○学校教育の根幹に心の教育を据え、生活指導部と児童会活動など各部がより深く連携し「和顔愛語」「あいさつ運動」「くんさんちゃん運動」などに取り組み、効果を上げている。学校全体の雰囲気、年々平和で温かいものになってきている。まだ個人差があるので、更に浸透を図っていく。</p> <p>●学級経営を教育活動の基盤と考えてきたが、いまだ十分とは言えず、児童の自己肯定感を一層高める努力が必要である。自ら考えて判断し、主体的に行動できる力を高めていきたい。</p> <p>●児童アンケートによると、家庭学習の目標時間に達している児童が十分ではなく、学年が上がるにつれて達成率が低い傾向である。また、「読書数」「文字を丁寧に書く」などが十分とは言えない状況である。</p>

次年度への改善策
<p>① 感染症対策と効果的な改善は継続しながら、「学校が本来のあるべき姿」を求めて、保護者や地域の理解を得ながらWithコロナ時代の前向きで力強い学校運営に努めていく。</p> <p>② 「和顔愛語」を合い言葉として心の教育を引き続き根幹に据え、児童の自己肯定感を高める学級経営を基盤としながら、安心安全で秩序と温もりのある学校づくりを一層推進する。</p> <p>③ 日課の更なる工夫(午前中5時間日課の増)で教材研究の時間を生み出して授業改善を更に進め、短時間ではあるが放課後の個別指導もできるようにする。</p> <p>④ 「家庭学習の手引き(児童用)」「我が子を伸ばす家庭学習(保護者用)」による啓発を進め、育友会と連携したメガイソトールの取組等により、家庭学習の習慣づけと適切な時間の確保を求める。宿題や自主学習の取組について共通理解を図り、家庭学習充実のために児童に適度な負荷をかけるようにする。</p> <p>⑤ 学力面では課題である「読む力」を上げるために、視写や速読などを含めてリーディングスキルを高める授業を模索する。目的に応じて「書く力」も重要なので、書く活動を取り入れた授業を実践し、ノート指導にも力を入れる。併せて、図書館教育部で「読書数」アップの取組を工夫する。</p>

学校関係者評価委員の意見
<p>○心の教育を根幹に据えた学校経営に共感できる。今後も、心豊かで自己肯定感を高めるような教育活動を推進してほしい。</p> <p>○子供たちのあいさつを見ると個人差が大きい。地区全体での向上のために、あいさつ運動は継続してもらいたい。地区でも大人から積極的にあいさつの声掛けをしていくようにする。</p> <p>○読書数の向上のためには、家庭読書を自主学習に取り入れるなど、家庭学習と関連付けた取組が必要なのではないだろうか。</p> <p>○最終的に子供のためになる働き方改革を、日課の工夫などによって更に進めていってほしい。</p>

関係者評価を受けて
<p>□次年度への改善策、経営方針の骨格について学校関係者評価委員・学校支援会議でご理解をいただくことができた。</p> <p>□読書数アップ、読む力の向上、家庭学習習慣定着を関連付けた指導や家庭啓発を工夫していく。</p>